

わ が 街 わ が 故郷

ミネベア株式会社 藤沢工場と藤沢市

1. 藤沢工場紹介

* 住所 神奈川県藤沢市片瀬1-1-1



ヘリから撮影した藤沢工場および江の島

* 沿革

1898年

株式会社東京螺子製作所は、東京都港区に創立し、民需用ねじの製造を開始。

1910年12月

徳川大尉により日本で初めて飛行機が飛び、数年後の1913年より航空機用ボルト・ナット・タンバッカルなどの製造を開始。

1921年

現在の所在地である神奈川県藤沢市片瀬へ工場を移転。戦時中は軍の共同管理工場の指定を受けていました。戦後は手持資材をもって農耕用鋤、組立家屋、電気パン焼器などの製造販売や家庭用ミシンの生産をしていたこともあります。

1949年

自動車用ねじ部品を受注。

1950年以降

オートバイ用ねじ部品を受注。

1975年7月

ミネベア株式会社は、東証二部上場のねじの総合トップメーカーの株式会社東京螺子製作所を買収し、系列会社へ。

1981年10月

ミネベア株式会社は、株式会社東京螺子製作所、新興通信工業株式会社、新中央工業株式会社および大阪車輪製造株式会社の系列メーカー4社を吸収合併。株式会社東京螺子製作所は社名を「ミネベア株式会社 藤沢製作所」と変更しました。

現在の敷地内には片瀬大源太遺跡の一部があり、建設工事に伴い、1982年、1985年、1996年、2007年と数次にわたって発掘調査が行われ、縄文時代の遺物をはじめとし、弥生時代の遺構や遺物、最新の発掘調査では戦争関連の遺構や遺物なども出土しています。

2007年10月25日

新航機工場もオープンし、更なる飛躍を目指しています。

2. 製品紹介

① ファスナー（ねじ）

ファスナーはボルトやナット、リベットなど物と物とを締結する部品で、高度な品質と耐久性が要求される航空機や自動車に数多く使用されています。使用環境の多様化に伴い、耐食性・耐摩耗性・耐薬品性などにすぐれためっきやコーティングが求められるようになっておりますが、いかなる用途にも対応できる多種多様な表面処理設備を揃えております。材料の調達から圧造→機械加工→熱処理→表面処理→完成とすべての工程を社内ではほとんど行える強みを備えており、中でも各航空機機体メーカーおよびエンジンメーカーの認定を必要とする特殊工程と呼ばれている熱処理と表面処理におきましては、全社より、多くの認定を取得しております。



ファスナー製品

② 計測機器

当部門はひずみゲージおよびその応用トランスデューサ（変換器類）、並びに各種計測・計装機器の開発・製造を行っております。

特に、当部門のコア技術であるひずみゲージは独自の設計開発により、タイおよび中国工場にて量産されており、生産量は世界一です。

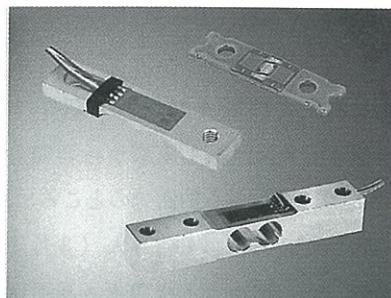
このひずみゲージを基に、フォースセンサ・ロードセル（荷重変換器）・圧力変換器・トルク変換器などの変換器類、その信号を増幅、データ処理などを実現させるためのトランスマッタ・

ディジタル指示計、およびご要求に合致させたシステム製品までのトータルしたご提案にて、各種産業の計測・計装のニーズにお応えしております。

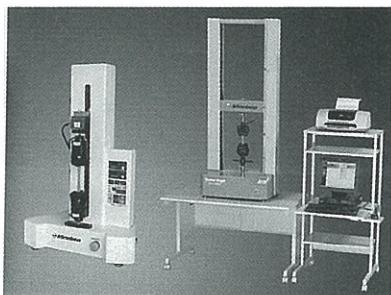
このような製品群は、従来の工場プラント、自動車、製鉄などの生産設備のみならず、自動車への搭載、国産ロケットへの搭載など、高信頼性を要求されるセンサとしても、多数の実績があります。

また、金属、プラスチックなどの材料試験を行なう、引張圧縮試験機の開発・製造も行っております。

試験計測のセンサはもとより、計測したデータを解析するためのデータ処理ソフトウェアもすべて、自社にて開発しています。



フォースセンサ



引張圧縮試験機

③ キーボード

世界の主要PCメーカーへ供給するため、高付加価値品に特化したデスクトップPC用キー

ボードおよびノートブック用キーボードを藤沢およびアメリカにて研究開発、製造は中国で行っています。また、無線技術を搭載したキーボードあるいはバックライト付キーボード等ハイエンド品も生産しております。弊社のキーボードはOEM生産しているため社名はでていませんが、ただいまお使いのキーボードは弊社で生産しているものかもしれません。



キーボード



相模湾大水槽



イルカ・アシカパフォーマンスショー

3. 藤沢市および観光スポット紹介

藤沢市はJR東海道線で東京から約50分（距離だと50km）、横浜から約20分のところにあり、面積は69.51km²、人口は40.2万人（8月1日現在）。周囲には、横浜市・鎌倉市・茅ヶ崎市・大和市・綾瀬市・海老名市・寒川町に囲まれ、南は相模湾に面しています。

また、藤沢市は「東洋のマイアミ海岸」と呼ばれており、アメリカ合衆国フロリダ州マイアミビーチ市をはじめ、カナダ国オタリオ州ウィンザー市、中華人民共和国雲南省昆明市、大韓民国忠誠南道保寧市、長野県松本市の5都市と姉妹・友好都市を提携しており、江の島にあるサムエル・コッキング苑という施設には姉妹都市コーナーを設け、紹介しています。

観光といえば、江の島が有名ですが、2004年4月にリニューアルしました「新江ノ島水族館」は8,000匹のマイワシの大群が泳ぐ相模湾大水槽や日本初の深海生物の長期飼育に挑戦する深

海コーナー、イルカのショーなどがあります。

夏のイベントとしては、「世界一大きい金魚すくい」が8月にダイエー藤沢店前で開催されました。水槽の長さは全長54m、金魚は40,000匹、メダカは10,000匹、どじょうは2,000匹というスケールです。この金魚すくいは、2002年に水槽の長さは100.8m、金魚は60,000匹、メダカは15,000匹、水槽内の水量は15tで、2003年7月にギネスに認定されています。水槽の全長は23.4mと短くなりますが、日本一長いヨーヨーフィールドも開催されますので、来年の夏にご参加されてはいかがでしょうか？童心に返って金魚やヨーヨーをつるのも楽しいかもしれません。

藤沢は、鎌倉時代に遊行四代吞海上人が遊行寺を開き、門前町として栄えました。毎年1月2日～3日に開催される箱根駅伝の3区に藤沢があり、ちょうど遊行寺の横の坂を選手は通過してきます。この遊行寺は、鎌倉時代に時宗

の一遍上人が全国を遊行した際に、念仏を唱えているうちに僧尼が突然踊りだし、それを見ていた民衆も一緒になって踊りだしたそうです。全国を巡った際に各地の様々な風習や歴史が溶け合って各地域オリジナルの盆踊りに発展していったのではといわれ、現代の盆踊りのルーツでは？ということから新しい盆踊りを創作し、藤沢の夏の風物詩に発展させようと2006年7月から「藤沢宿・遊行の盆」という盆踊りが始まりました。遊行寺内は黒門(惣門)を入り、いろは坂があります。この坂は石段が48段あり、48は弥陀の本願の数で、この坂を上ると本願を信じながら参拝するようにと考慮されています。春は桜が美しいそうです。境内には大銀杏があり、樹齢200年(700年ともいわれる)で藤沢市の天然記念物に指定されています。その他、木造では東海道唯一といわれている本堂、宝物館、徳川綱吉が金魚、銀魚の類いをこの池に放流せよと命じたといわれている放生池、開運弁才天とも言われる銭洗い弁天の宇賀神社、小栗判官と照手姫ゆかりのお寺の長生院、真淨院、真徳寺があります。

遊行寺住所：藤沢市西富1-8-1

(JR藤沢駅から徒歩15分)

もうすぐ箱根駅伝のシーズンとなります。藤沢のお近くにお住まいの方は、今年のお正月は遊行寺の横の坂で駅伝を観戦し、遊行寺散策でもしてみてはいかがでしょうか？遠い方はビールor熱燗を片手にテレビより観戦下さい。お天気が良ければ正面に富士山、左側に相模湾を臨むことのできる景勝地です。



遊行寺

(ミネベア株式会社 広報室)

写真提供：新江ノ島水族館・藤沢市役所観光課